

# 旧川越織物市場保存・再生計画

## 提案書



平成13年11月

旧川越織物市場の保存・再生を考える会



## Contents

---

第1章 川越市の現況認識	1
1-1 川越市の概況	1
1-2 川越市の歴史的資源の位置付け	1
第2章 旧川越織物市場の歴史的価値と 保存・再生に向けて	4
〈参考資料：2章関連〉	
第3章 現状の課題と問題点	8
3-1 市レベルから見た視点	8
3-2 当該地域から見た視点	10
第4章 基本方針	12
第5章 保存・再生計画	14
第6章 今後の課題と活用に向けて	16
〈参考資料〉	

---

## 旧川越織物市場保存・再生計画

## 第1章 川越市の現状認識

## 1-1 川越市の概況

川越市は、埼玉県南西部地域に位置し、面積は109.16km<sup>2</sup>、東京都心より30km圏内に位置し、鉄道路線の充実により都心への通勤・通学等の便が良かったため、ベッドタウンとして発展しました。古くから交通の要衝として栄え、現在も鉄道のほか、関越自動車道、国道16号などの幹線が交差し、首都圏中央連絡道路（圏央道）の建設も進んでいます。

また、地方分権の実行の段階において、川越市にとって最も大きな発展の契機となるのが「中核市」への移行であり、政令指定都市に次いで多くの権限を持つことになる都市制度で、平成15年4月の以降を目指しています。

また、本市の産業は、農業、商業、工業がバランスよく発展しています。一方、蔵造りの町並みや時の鐘、川越城本丸御殿、喜多院、川越まつりなど、かつて江戸とのつながりの中で発展してきた歴史を今に伝えるものが多く残っています。こうした江戸の情緒を今に伝えるまちとして「小江戸」と呼ばれるなど、首都圏における観光地として親しまれ、年間約400万人もの人が訪れています。このように年々増加傾向にある観光客に対し、観光面での取り組みは本市においては極めて重要であり、歴史的資源の積極的活用や新たな観光資源の発掘、安全かつ快適に散策できる道路の整備や、団体客が休憩できる施設や公衆トイレ、ポケットパーク、観光案内所等の整備などが求められています。

## 1-2 川越市の歴史的資源の位置付け

旧川越織物市場保存・再生計画を推進する上で、『第二次川越市総合計画』をはじめとする上位関連計画等の中から、本市における歴史的建造物・町並み景観、観光等活性化に関連するものについて整理すると以下のとおりであります。

◆第二次川越市総合計画 後期基本計画 『未来に萌える歴史のまち』（平成13年3月川越市）

『未来に萌える歴史のまち』とは、輝かしい未来に向かって、全市民が一体となり夢と希望に萌え、新しい歴史を刻んでいこうというものです。

●基本構想の理念：『3. 川越のまちと自然を愛し、歴史と伝統を大切にするまちを目指します。』 郷土の伝統と自然を大切にし、文化の香りたかい本市の風土を継承できるまちをつくります。

●将来都市像：『自然と歴史を生かし、市民がいきいきと、新しい暮らしを創造するまち』